

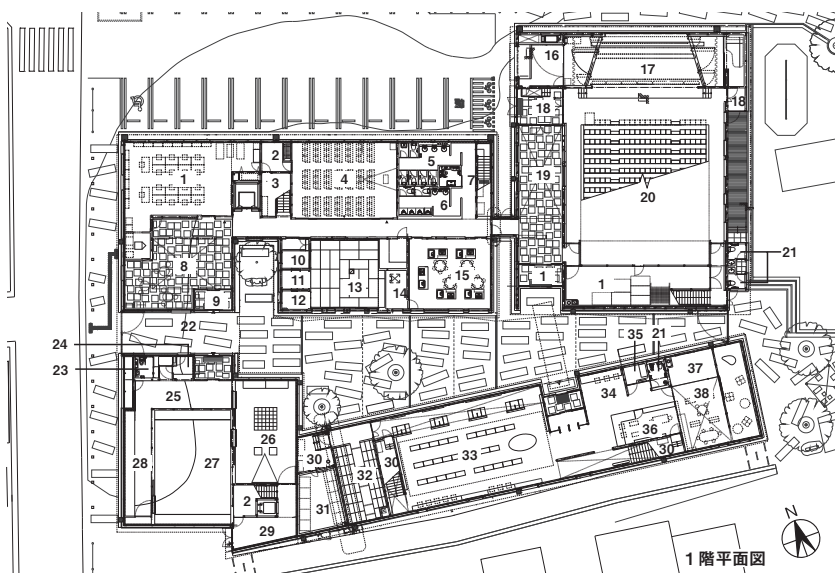
優秀賞

文化施設
(関東地区)

真壁伝承館



北側外観



1 事務室 2 倉庫 3 消化ポンプ室 4 大会議室 5 女子トイレ 6 男子トイレ 7 廊下 8 エントランス 9 風除室
10 階段 11 納戸 12 湯沸かし室 13 和室 14 準備室 15 調理室 16 搬入口 17 ステージ 18 前室
19 ホワイエ 20 集会ホール 21 トイレ 22 屋外通路 23 多目的トイレ 24 受付 25 ロビー 26 展示室 1
27 展示室 2 28 展示室 3 29 荷解室 30 空調設備室 31 電気室 32 閉架書庫 33 閉架室
34 検索・AV コーナー 35 給湯室 36 司書室 37 プレイルーム 38 児童図書室



ホール内観

所在地 茨城県桜川市真壁町真壁 198

敷地面積 (m²) 3,271.49建築面積 (m²) 1,728.84延床面積 (m²) 2,742.64

構造/階数 S 造/地上 2 階

事業者 桜川市

設計者 (株)設計組織 ADH

施工者 五洋建設(株)東京建築支店

竣工年月 2011 (平成 23) 年 7 月

総工事費 1,442.5 百万円

周辺の歴史的景観との調和と、地域住民の新たな日常活動拠点機能確保という難しい命題に対し、「サンプリング&アッセンブリー」という設計手法を導入。ボリュームを抑えた低層切妻屋根の建物形態、黒と白の焼付塗装鉄板壁と杉板目透かし張りの外壁構成などにより、重伝建地区の新たな美しい風景を構成する、中心的存在として大きな役割を果たしている。

地元の真壁石が中庭や1階床周りに使用され、各室のディテールや納まり、回遊性を考慮したゾーニングや動線、インテリアや照明デザインにも工夫が見られる。

外壁周りの鉄板・鉄骨の特殊構造は、詳細な納まり寸法や位置を十分に調整・検討しながら、入念なパネル製作図とモックアップの作成、現場での綿密な施工により高い精度で仕上げられている。

屋根と一体化したソーラーパネル

なお、今後、外壁面の鉄板や杉板の経年変化が気になるため、定期的な保守・維持管理と美観の継承を期待したい。

「過去を未来へツナグ場所」として……

日差しを温もりと南東に聳え立つ筑波山系の山並みに木々の彩りを感じられる10月初旬、真壁伝承館は開館して5年が過ぎました。朝、開館を待つように図書館に来る方、公園のベンチでご近所話に夢中になる高齢者、夕方になると学校帰りの子ども達の声が周りに響きわたり、暗くなると図書館やホールからの明かりが建物の存在を誇張しています。

様々なものに彩られた日常こそが地域に愛された施設であることを実感できます。江戸時代、この地には「陣屋」がありました。そしてこの場所には時がたっても変わらない風景がこれからも続くことでしょう。

(酒寄久・真壁伝承館館長)